

ニシテ其ノ落差九六〇尺ニ達シ有利ナル水力地點ヲ得ヘシ

三、水利及治水 流木行ハルレトモ其ノ量多カラス治水、灌漑排水、舟筏漁業等ノ關係ナク水力事業トシテハ許可地點三アリ内二ハ既設ニ屬スレトモ他ノ一ハ未タ工事ニ着手セス

四、水力地點 本川ノ選定水力地點ハ前表ノ如シ

水力地點ノ説明

順位三〇二 本地點ハ字沼上ノ左岸ニ取入レ水路長一、二〇〇間ニシテ發電所ニ達ス水路ハ開渠隧道相半ス本地點ハ選定後許可トナレリ

順位三〇三 本地點ハ取入口ヲ二箇所トシ一ハ前地點ノ放水口ニ接シテ右岸ヨリ取入レ野手上山ノ東麓ヲ貫キ比曾川沿岸ニ出テ他ハ野手上山ノ南東麓ニテ比曾川ノ流水ヲ左岸ヨリ取入レ河岸ニ沿フテ導水シ前記水路ト合シ落合附近ニテ發電ス

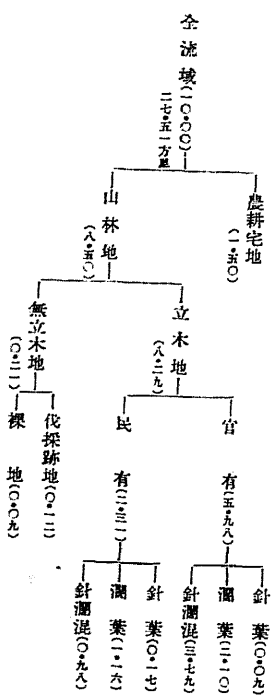
順位三〇四 本地點ハ比曾川合流點ノ下流ヨリ右岸ニ取入レ大體河岸ニ沿ヒ全部隧道ニテ導水シ字松落合ニ發電所ヲ設ケントスルモノナリ

上流ハ字古道ニテ二川ニ分レ西南ヨリ來ルモノヲ古道川ト云ヒ其ノ北方磐城、岩代ノ國境ニ聳ユル旭嶽ヨリ來ルモノヲ葛尾川ト謂フ兩川ハ合流後高瀨川トナリ東流スルコト約三里ニシテ山間部ヲ脱シ更ニ下ルコト二里餘ニシテ室原川ヲ左岸ニ合セ約半里ニシテ大平洋ニ注ク流路全長約一里小屈曲ニ富ミ流域ハ双葉郡大堀村、浪江町ノ全部及葛尾村ノ大部、田村郡都路村ノ全部ヲ含ミ面積一七三万里アリ上流ハ廣瀨ニシテ緩斜地多ク溪澤ノ兩岸ハ平坦ニシテ耕地速レトモ中流部ハ山岳重疊シ傾斜急峻ニシテ基岩ヲ露出シ字大堀以東漸次兩岸開ケ丘陵モ多クハ高臺狀ヲ呈セリ

請戸川流域林野狀態一覽表

括弧内ノ數字ハ全流域ニ對スル面積ノ割合ナリ

(河口ヨリ上流部)



第十二章 請戸川水系

第一節 概説

本水系ハ福島縣東海岸部ノ中央ニ位シ流域ノ形狀略三角形ヲナシ水源部幅廣ク下流ニ至ルニ從ヒ次第ニ狹シ西方水源部ノ山地ハ阿武隈山脈ニ屬シ檜山、鎌倉岳、旭嶽其ノ他ノ諸峯隆起スルヲ以テ地勢自ラ東方ニ傾キ旭嶽ノ支脈ハ西ヨリ東ニ走リテ流域ヲ南北ニ二分ス南部ハ高瀨川ノ流域ニシテ北部ハ室原川ノ流域ナリ。高瀨、室原兩川ハ共ニ田村郡界ニ發源シ東流シテ浪江町ノ南ヲ過キ字荒井ニテ合流シ請戸川トナリ請戸部落ノ北側ニテ太平洋ニ注ク

請戸川ノ總流域面積ハ二七五一方里ニシテ荒井ヨリ上流高瀨川ニ屬スル面積一七三方里、室原川ニ屬スル面積九七方里ナリ即チ兩川ノ面積ハ殆ト請戸川全面積ナルヲ以テ以下兩川ニ就キ各別ニ調査事項ヲ記述セントス

第二節 高瀨川

一、流域 本川ハ請戸川ノ本流ニシテ南方流域内ヲ流ル、

ニ小許ノ第三紀層アリ又下流部河川沿岸ノ平地地ハ第四紀層ニ屬セリ

上表ハ高瀨、室原兩川ヲ含ミタル請戸川全體ノ林野狀態ヲ示スモノナルカ高瀨川ニアリテハ山林ハ全流域ノ約九割ヲ占メ國有林ハ其ノ約七割ニ當リ多クハ針闊混森林ナルモ中流部手倉山附近一帶ハ針葉樹ノ割合多ク殆ト純針葉樹林ニ近シ國有林ハ「トド松」姫松、樅等ノ針葉樹及山毛櫸、檜、栗、セン等ノ闊葉樹ヲ主トシ樹齡五〇年乃至一〇〇年ノモノ最多ク二、三百年ニ達スルモノ少カラズ民有林ハ全面積ノ二割強ニ當リ古道川流域ニ多ク樹種ハ略國有林ト同様ナルモ針葉樹ノ混合割合少クシテ樹齡モ亦四〇年ヲ超ユルモノ稀ナリ且放牧行ハルルヲ以テ無立木地散在シ國有林ニ比シ林相良好ナラス

本流域ニハ氣象觀測所ナキヲ以テ正確ナル氣温ノ變化ヲ知悉シ難キモ附近觀測所ノ觀測結果ニヨリ推定スレハ年平均氣温ハ一三度乃至一四度ニシテ八月最高ク二月最低シ。降水量ハ岩井澤ニ於ケル觀測ノ結果ニヨレハ調査三年間ノ平均年量一七一六耗ニシテ月量ノ最多ハ九月、三一二耗其ノ最少ハ十一月ノ五二九耗ナリ最多日量ハ九月ニ起リ一二八耗ヲ量リシコトアリ。風向ハ一月ヨリ三

月頃迄西風吹キ荒ムモ其ノ他ノ季節ニハ東風多シ
 二河川狀況 古道川、葛尾川ノ合流附近ヨリ上流ハ河岸比較的低ク河床ハ多ク砂礫ヲ以テ被ハルレトモ同所ヨリ下流字大堀ニ至ル間ハ河底深ク穿タレ兩岸ハ高サ二十餘尺ノ斷崖ヲナシ往々數十尺ニ及フ箇所アリ河幅狹ク河床ハ玉石或ハ砂礫多キモ岩盤ノ露出モ尠カラズ大堀以東ハ第四紀層ノ平地ヲ貫流スルヲ以テ河岸河床ノ大部分ハ砂礫ヨリ成リ河岸缺壞セラレテ河川ノ幅員廣シ

河川ノ勾配ハ古道、葛尾兩川ノ合流點ヨリ上流約一里ノ間ハ共ニ急ナレトモ夫レヨリ上流ハ頓ニ緩流トナル兩川

高瀬川 流量表

平均ニハ大正十一年ヲ合マシ
 流量ニ()ヲ附セルハ用水ヲ加算シタルモノナリ

順位	舊順位	河川	測水所	面積	流量				流域一方里當流量									
					年次	最大	平水	低水	湯水	最小	最大	平水	低水	湯水	最小			
八三	一	高瀬川	福島縣双葉郡大堀村 小丸燒築	一四七〇	大正八年 大正九年 大正十年 大正十一年 平均	(六、七三〇) (九、八三〇) (五、五二〇) (一、四三〇) (一、四三〇)	(二、二〇〇) (三、四一七) (二、四三七) (一、七九一) (一、九一)	(一、四四五) (二、四〇七) (二、四三七) (一、八八一) (一、九一)	(一、九五) (二、〇一〇) (二、四三七) (一、五七九) (一、五七)	(九、七二) (四、五七八) (二、四三七) (一、八八一) (一、九一)	(一、四四五) (二、四〇七) (二、四三七) (一、八八一) (一、九一)	(一、〇九九) (一、〇九九) (一、〇九九) (一、〇九九) (一、〇九九)	(七、五五) (四、四七) (二、四三七) (一、八八一) (一、九一)	(一、四四五) (二、四〇七) (二、四三七) (一、八八一) (一、九一)	(一、〇九九) (一、〇九九) (一、〇九九) (一、〇九九) (一、〇九九)	(一、〇九九) (一、〇九九) (一、〇九九) (一、〇九九) (一、〇九九)	(一、〇九九) (一、〇九九) (一、〇九九) (一、〇九九) (一、〇九九)	甲

三、水利及治水 本川流域ニハ上流古道川筋古道附近、葛尾川筋夏湯附近及下流海岸部ニハ耕地存スレトモ其ノ中

間水力利用範圍ニ於テハ耕地ナク灌漑用水ノ關係ナキモ利用區域ノ末端ニ燒築ヨリ取入ルル灌漑用水路一アリ多

少考慮ヲ要スレトモ發電餘水ヲ以テ灌漑用水ニ充ツレハ支障ナカラン。木材ハ最近専ラ軌道ニ依リテ運搬スルヲ以テ流材行ハレス治水、排水、漁業其ノ他ノ關係ナシ

高瀬川 水力地點表

順位ニ()ヲ附セルハ許可地點ト關係アリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	亘水長路	面積	發電率	年平均馬力數	等級
三〇五	高瀬川	一	福島縣田村郡葛尾村 落合大(葛尾川) 古道下平向(古道川)	同郡落合村	湯水 一一七 低水 一四九 平水 一九八	一八七	三、〇九三 四、一一〇	二、五八〇	一〇、六九	九七〇	三、〇〇〇	甲
(三〇六)	同	二	福島縣双葉郡大堀村 小丸中堀	同郡大堀村 丸出	湯水 一四五 低水 一八三 平水 二五〇	二七三	四、三九四 五、五四五 七、五七六	三、六〇	一四、一一	一〇〇〇	四、三九四	甲

水力地點ノ説明

順位三〇五 本地點ハ古道葛尾兩川ノ水ヲ集メ落合ニ發電所ヲ設ケントスルモノニシテ古道川ハ字下平向ニテ左岸ニ取入レ河岸ニ沿フテ開渠ヲ築造シ發電所上部ノ水槽ニ達セシメ葛尾川ハ大放上流ノ右岸ニ取入レ開渠及隧道ニテ同シク落合ニ導水シ古道川ノ水路ト合シ放水ス

一、流域 本川ハ諸戸川ノ支流ニシテ北方流域内ヲ流ル源ヲ阿武隈山脈中ノ高峯旭嶽ニ發シ東流シテ津島ヲ過キ鹽浸附近ヨリ北方相馬郡界ニ沿ヒ東南流シ浪江町ノ北端ヲ經テ字荒井ニ至リ高瀬川ニ合ス頗ル屈曲ニ富ミ流路約一三里アリ流域ハ双葉郡津島村、葛尾村、荻野村、浪江町、幾世

第三節 室原川

順位三〇六 本地點ハ字中窟ヨリ左岸ニ取入レ上流ノ大部ヲ隧道トナン下流一部ヲ開渠トシテ導水シ字出口ニ

一三里アリ流域ハ双葉郡津島村、葛尾村、荻野村、浪江町、幾世

橋村ニ跨リ面積約一〇方里ヲ有ス
 上流ハ津島ヲ中心トセル稍廣大ナル平地存スルノミナ
 ラス周圍ノ山態モ高原性ヲ呈シ多クハ緩斜地ナレトモ中
 流部ハ海岸部各河川ノ特性ニ倣ヒ山岳重疊河岸ニ迫リ急
 峻ノ狀ヲ呈スル箇所多ク所々基岩ノ露出ヲ見レトモ室原
 ヨリ下流部ハ兩岸漸次開ケ海岸平原部ニ連レリ
 地質ハ室原ヨリ上流ハ全部片麻岩ニシテ津島附近ニ石
 英斑岩ノ小露出ヲ見室原附近ニ古生層其ノ東部ニ第三紀
 層存シ下流沿川ノ平坦部ハ第四紀層ニ屬セリ
 本流域モ高瀬川流域ト同シク山林ノ大部ハ國有林ニシ
 テ中流部字晝會根ヨリ賀老ニ至ル間ノ左岸山地ハ林相稍
 不良ナレトモ右岸ノ山地ハ針濶混淆ノ密林鬱蒼トシテ繁
 リ森林狀態頗ル良好ナリ民有林ハ上流鹽浸ヨリ津島ニ至
 ル沿岸狹長ノ區域ニ存スルニ止マリ國有林ニ比スレハ稍遜
 色アレトモ概シテ良好ナリ
 本川ノ氣象ハ其ノ觀測ナキモ前節高瀬川ト同様ナラン
 流域内ニ湖沼及大ナル湧水ナシ

二、河川狀況 上流部ハ河岸低ク沿岸ニ狹長ナル平地存
 シ耕地稍拓ケ河床ハ砂礫ヨリ成ルモ中流部鹽浸ヨリ室原
 ニ至ル間河流ハ右曲左折シ兩岸山勢迫リ斷崖ノ處妙カラ

ス河床ニハ大岩巨石散在シ岩盤ノ露出多シ河川勾配ハ前
 記鹽浸ヨリ室原ニ至ル間ハ激流奔湍相連續シ六七分ノ一
 ヲ保チ晝會根附近ノ大瀧及不動瀧ハ高サ何レモ二十餘尺
 ニ達シ二里半ノ間ニ於テ落差約五〇〇尺ヲ算スレトモ其
 ノ上下流ハ勾配緩ニシテ落差ニ乏シ
 本川ニハ測水所ナキモ流量ノ變化、結水及流水等ノ狀況
 ハ高瀬川ト同様ナラン
 三、水利及治水 本川ノ上流部及下流部ニハ耕地少カラ
 ナレトモ利用シ得ヘキ區間ニハ水田ナク從ツテ灌漑用水
 ニ關係ナシ流水行ハレス其ノ他治水、排水、漁業等ノ關係ナ
 シ
 許可水力地點ハ福島電燈株式會社既設發電所ノ外小高
 川電氣株式會社ニテ不動瀧ヲ利用セル小規模ノ既設發電
 所アリ
 四、水力地點 水力利用區間ハ前記急勾配ノ部分トス
 水力地點ノ說明

順位三〇七 本地點ハ柵平部落ノ上流下冷田ノ右岸ニ
 取入口ヲ設ケ葛尾村界ニ近ク發電所ヲ設ク水路ハ先端部
 六〇〇間を開渠トナシ殘部ヲ隧道トス
 順位三〇八 本地點ハ福島電燈株式會社ノ既設發電所

室原川水力地點表

落差ニ*ヲ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	番地	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	亘水路	面積	能發電	年平均馬力數	等級
三〇七	室原川	番外二	福島縣双葉郡津島村 南津島 下冷田	同津島郡 鷹野村	湯水 四七 低水 六〇 平水 八〇	*二〇一	一、〇四九 一、三三九 一、七八五	二四〇〇	四三三	一〇〇〇 九七〇 八八四	一、〇四九 一、二五九 一、五七八	甲
三〇八	同	三	福島縣双葉郡津島村 川原 矢貝野	室原郡 堀野村	湯水 六四 低水 八二 平水 一〇九	二七五	一、九五四 二、五〇三 三、三二七	二四四〇	五八九	一〇〇〇 九七〇 八八四	一、九五四 二、四二八 二、九四二	甲
三〇九	同	番外三	福島縣双葉郡野村 室原 堀野村	室原郡 下瀧平	湯水 八二 低水 一〇五 平水 一四〇	一一二	一、〇一九 一、三〇五 一、七四〇	一、六五〇	七五八	一〇〇〇 九七〇 八八四	一、〇一九 一、二六六 一、五三八	甲

ノ下流ヨリ取入レ水路ハ全部隧道トシ左岸ヲ導水シ字堰
 守ニ發電所ヲ建設セントス

順位三〇九 本地點ハ順位三〇八地點ノ放水口下流ニ
 堰堤及取入口ヲ設ケ水路ヲ左岸ニ選ヒ不動瀧ノ上流ニ發
 電所ヲ設置ス水路ハ中央部約七〇〇間ヲ隧道トナシ他ハ
 開渠トス

一、流域 本水系ハ福島縣東海岸ノ中央部ニ在リ南ハ夏

井川水系ニ接シ北部水源ハ請戸川水系ト界ス、本川ハ源ヲ
 阿武隈山脈ノ高峯大瀧根山ノ東北ニ發シ東南流シテ上川
 内ニ至リ矢大臣山ヨリ北東流シ來ル支流ヲ右岸ニ入レ下
 川内附近ニテ右折シ南流スルコト一里餘字沼平ニテ更ニ
 方向ヲ東ニ轉シ峽谿ノ間ヲ縫ヒ木戸村ニ出テ太平洋ニ注
 ク其ノ流域ハ双葉郡木戸村ノ全部、川内、龍田兩村ノ大部及
 石城郡上小川、川前兩村ノ一部ヲ占メ面積一七方里餘ヲ有
 ス。地勢ハ大體ニ於テ西ヨリ東ニ向ツテ傾斜シ上流部ハ

第十三章 木戸川水系